

日本遺産に触れる旅

いしたび

たがや
八代を創造した石工たちの軌跡
～石工の郷に息づく石造りのレガシー～



日本遺産として語る 八代の「石工たちの軌跡」

八代に広がる大規模な干拓地。そこにある水路や樋門。
これらの土木工事は石を多用して行われてきました。
おかげで石を使う技術が発達。当地に残るめがね橋建設に
応用され、石造文化が形づくられていったのです。
石の匠は現在、日本遺産「八代を創造した石工たちの
軌跡～石工の郷に息づく石造りのレガシー～」として
語り継がれています。





八代市は こんなところ

九州のほぼ中央に位置する八代市は
古代から海外貿易で賑わい、近世になると
八代城の城下町として大いに栄えました。
明治時代にはさまざまな工場が進出。
以来、工業都市として発展しています。
600年以上の歴史を誇る日奈久温泉や
平家落人伝説が彩る五家荘といった
人気観光地を抱え、ユネスコ無形文化遺産に
登録されている「八代妙見祭」や
「やつしろ全国花火競技大会」など
行事やイベントも盛んです。

日本遺産 ってなんだろう？

日本遺産とは、各地にある魅力的な文化や伝統、
遺跡やモノなどをひとつの「つながり」「面」として
とらえストーリー化。文化庁が認定する制度で
す。すでに「八代を創造した石工たちの軌跡」をは
じめ100を超えるストーリーが各地にあり、文化
庁は国内外へ広く発信して地域活性化が図れる
よう支援。地域のみなさんのアイデンティティ再
確認や地域ブランド化もバックアップしています。

たがや
八代を創造した石工たちの軌跡
～石工の郷に息づく石造りのレガシー～

石造り レガシー 25 Legacy

鏡・千丁

市中心部

東陽・泉

日奈久・二見・坂本

市中心部

エリア

P5～

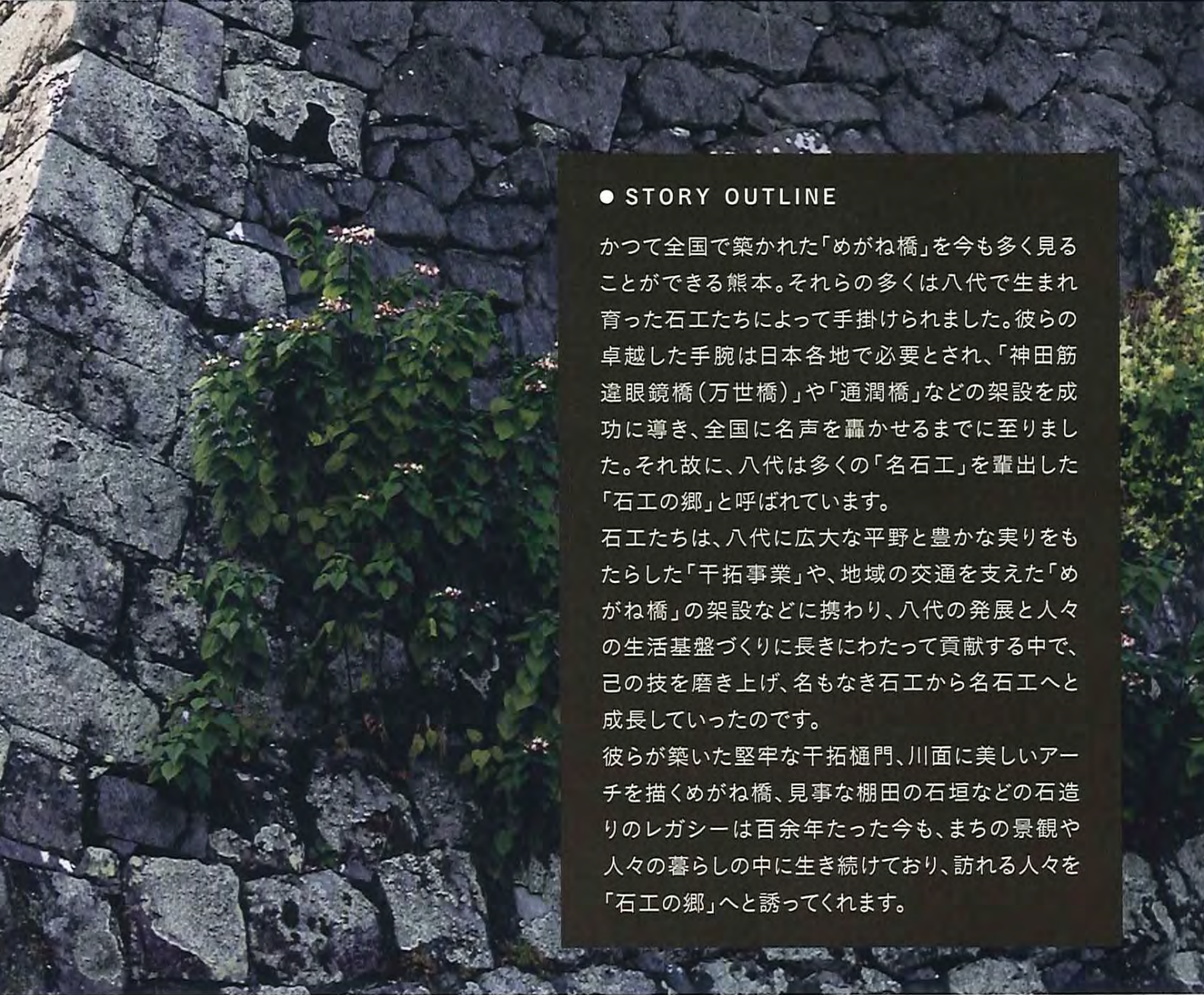
- 01 水島(不知火及び水島) P5
- 02 白島 P7
- 03 麦島城跡(八代城跡群) P7
- 04 八代城跡(八代城跡群) P6
- 06 高島新地旧堤防跡(八代海干拓遺跡) P7
- 11 旧郡築新地甲号樋門(八代海干拓遺跡) ... P8
- 12 郡築二番町樋門(八代海干拓遺跡) P8
- 20 橋本家文書 P7

鏡・千丁

エリア

P9～

- 07 大鞘樋門群(八代海干拓遺跡) P10
- 08 鑑内橋 P9
- 09 岩永三五郎の墓 P9
- 10 文政神社 P12
- 21 い草及びい草製品 P12
- 22 大鞘節／大鞘名所 P12
- 23 女相撲 P11
- 24 芝口棒踊り P12



● STORY OUTLINE

かつて全国で築かれた「めがね橋」を今も多く見ることができる熊本。それらの多くは八代で生まれ育った石工たちによって手掛けられました。彼らの卓越した手腕は日本各地で必要とされ、「神田筋違眼鏡橋（万世橋）」や「通潤橋」などの架設を成功に導き、全国に名声を轟かせるまでに至りました。それ故に、八代は多くの「名石工」を輩出した「石工の郷」と呼ばれています。

石工たちは、八代に広大な平野と豊かな実りをもたらした「干拓事業」や、地域の交通を支えた「めがね橋」の架設などに携わり、八代の発展と人々の生活基盤づくりに長きにわたって貢献する中で、己の技を磨き上げ、名もなき石工から名石工へと成長していったのです。

彼らが築いた堅牢な干拓樋門、川面に美しいアーチを描くめがね橋、見事な棚田の石垣などの石造りのレガシーは百余年たった今も、まちの景観や人々の暮らしの中に生き続けており、訪れる人々を「石工の郷」へと誘ってくれます。

日奈久・二見・坂本 エリア

P13~

- 18 赤松第一号眼鏡橋 P13
- 19 めがね橋群※ P14

東陽・泉 エリア

P15~

- 05 美生地区の生姜棚田 P18
- 13 白髪岳天然石橋 P15
- 14 鍛冶屋上・中・下橋 P17
- 15 鹿路橋 P17
- 16 笠松橋 P16
- 17 谷川橋 P17
- 25 ひねり灯籠（若宮神社・菅原神社） P18

※(19)めがね橋群は八代市一円に現存していますが、P14で紹介しています。

市中心部エリア



Legacy 01 みずしま 水島 (不知火及び水島)

球磨川河口の堤防からほんの数メートル先にある小島で、城郭にも使われた頑丈な石灰岩が産出されていました。干拓時に陸地化の計画がありましたが、『万葉集』に詠われた地であることから島として残されました。

📍 熊本県八代市植柳下町 指定 国名勝



国の名勝に指定されており、龍神を祀る神社があります。神社には棧橋を渡って参拝可能。干潮時には島へも渡れます。

● STORY 01

干拓をきっかけに石工を育んだ風土

良質な石灰岩や阿蘇山噴火でできた凝灰岩を使ってまちづくりを行ってきた八代。その昔、平野が少なかったため、当地を豊かにすべく江戸時代から干拓がスタート。現在の平野部の3分の2がこの事業で生まれました。その際、活躍したのが石工たちです。石工たちは技術を高めていき、石造のめがね橋を多く架けたほか、東京の神田筋違眼鏡橋(万世橋)をはじめ全国で石橋・めがね橋に携わり、その名を轟かせました。



Legacy

04 やつ・しろ・しょう・あと 八代城跡 (八代城跡群)

元和8年(1622)、熊本藩加藤氏家臣の加藤正方が、大地震によって倒壊した麦島城の石垣を転用したり、八代産石灰岩を新たに用いて築城。加工が難しいといわれる石灰岩が石垣として見事に積み上げられており、石工たちの技の高さを今に伝えています。

📍 熊本県八代市松江城町 **指定** 国史跡



八代城にも
使われた美しい
石灰岩!!

Legacy

02

しろ しま
白島

現在は干拓により陸続きになっていますが、かつては良質の石灰岩が産出されていた島。切り出された美しい石灰岩は八代城の築城にも使われました。

📍 熊本県八代市郡築一番町 **指定** 未指定(遺跡)



Legacy

03

むぎ しま じょう あと
麦島城跡 (八代城跡群)

キリシタン大名の小西行長が天正16年(1588)に築城。石垣に地元産出の石灰岩が用いられていましたが、元和5年(1619)に起こった大地震で倒壊し廃城になりました。石垣の多くはその後、八代城築城に転用されています。

📍 熊本県八代市古城町 **指定** 国史跡



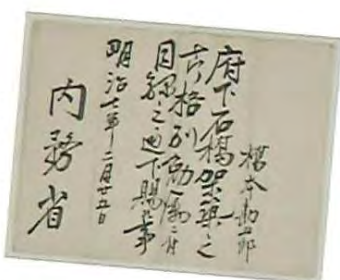
Legacy

20

はし もと け もん じょ
橋本家文書

八代の石工の代表的存在だった橋本家には、めがね橋の設計図や架設する際の見積書などが残されており、彼らが技術者であると同時に設計者であり、経営者としても有能だったことを今に伝えています。

📍 熊本県八代市 **指定** 未指定(歴史資料)



Legacy

06

たか しま しん ち きゅう てい ぼう あと
高島新地旧堤防跡
(八代海干拓遺跡)

文化13年(1816)、八代城代の松井徴之(あきゆき)が新地開発に伴い築造。全長約 85m、幅約9.4m、最も高い所で高さが約4.5mがあり、地元産出の石灰岩をそのまま積み上げる「野面積(のづらづみ)」で築かれています。

📍 熊本県八代市井揚町 **指定** 国史跡



10連アーチが見事な
国内最大規模の
石造樋門!!

Legacy ぎゅうぐん ちくしん ち こう ごう ひ もん
11 旧郡築新地甲号樋門
(八代海干拓遺跡)

10連アーチが美しい石造の樋門。明治時代の干拓事業「郡築新地」の際、高度な石材加工・建築技術を駆使して築造され、現存する石造樋門としては国内最大規模。完成から100年経った今も機能しています。

📍 熊本県八代市郡築三番町

🏷️ 指定 国重文(建造物)・国史跡

Legacy ぐん ちく に ばん ちょう ひ もん
12 郡築二番町樋門
(八代海干拓遺跡)

高潮により決壊した明治時代の堤防を補強するため、昭和13年(1938)に築造。この時代、全国の多くの樋門がコンクリート造であったのに対し、石造りになっており、八代で長い間石工が活躍していたことがわかります。

📍 熊本県八代市郡築二番町

🏷️ 指定 国登録有形(建造物)・国史跡



せつかく来たはら
寄っていかんね!

日本遺産周辺
「おすすめスポット」

**伝統芸能の魅力を発信
後継者も育て次世代へ**

「八代妙見祭」や「棒踊り」「女相撲」など、八代市に残る民俗文化財の保存と継承、その魅力を伝える施設。また、祭りや伝統芸能を支える後継者を育てる場になっています。



お祭りでんでん館

📍 八代市西松江城町1-47

☎ 0965-37-8737

🕒 9:00~17:00(入館は16:30まで)

📅 月曜(祝日などの場合は翌日)、
12月29日~1月3日

🆓 入館無料



トマト、い草などの特産品・加工品が人気

地元産の野菜や果物、トマトやい草などを使った加工品がいろいろ揃います。なかでもトマトやショウガ、柑橘類をはじめとする特産品は、季節を迎えると豊富に並びます。

八代よかとこ物産館

📍 八代市上日置町4459-1 ☎ 0965-32-3600

📅 第2木曜、1月1日・2日

🕒 8:00~19:00(レストラン 10:00~15:00)

鏡・千丁エリア



Legacy 08 鑑内橋

名石工、岩永三五郎が架橋したといわれる橋。天草で産出された砂岩を使用している点に特徴があり、当時、天草の下浦という地で活躍していた石工と交流があったことが伺えます。

📍 熊本県八代市鏡町内田

📌 市指定(建造物)

Legacy 09 岩永三五郎の墓

かつての野津(現八代郡氷川町)に生まれ、のちに石工の中心的存在となった名石工の墓。文政4年(1821)の「七百町新地」造成の際、多くの石工たちを率いて干拓事業の成功に大きく貢献し、八代の石工の名声を各地に知らしめました。

📍 熊本県八代市鏡町鏡村

📌 市指定(史跡)



岩永三五郎之像

● STORY 02

干拓がもたらした広大な平野 -干拓事業と石工の活躍-

その昔、平野が少なく「お国一の貧地」といわれた八代。現在、熊本県有数の農業地帯になっている平野は文政元年(1818)から同2年にかけて行われた四百町新地造成と、その2年後に始まった七百町新地造成による賜物です。当時の石工たちは長年培った技を活かして「大鞘樋門」をはじめ、新地内の用水路や橋を建設。また、それらの技術定着にも貢献し、八代の干拓を支える技術者集団として活躍しました。

Legacy

07

お ざ や ひ も ん ぐ ん
大鞘樋門群 (八代海干拓遺跡)

文政2年(1819)に行われた四百町新地干拓事業で建造。大きな特徴は、城郭以外には使用されることが少ない巨石が用いられている点。八代の石工はこの巨石加工や運搬、積み上げなどに携わったといわれています。

📍 熊本県八代市鏡町・千丁町 指定 国史跡





明るい笑いに
包まれる
女性が主役の
民俗芸能!

Legacy 23

おんな ずもう 女相撲

安政2年(1855)の新田開発の際、潮止め工事が難航。周辺の村々から屈強な力士を集めて踏み固めさせ、完成させたことが始まりと伝わります。ところが、いつの頃からか、女性主役の「女相撲」になった全国でも珍しい民俗芸能です。

📍 熊本県八代市千丁町古閑出 **指定** 市指定(無形民俗)

日本遺産周辺 「おすすめスポット」

鏡ヶ池公園

📍 八代市鏡町上鏡

🆓 入園自由

日本庭園の趣きがあり家族で楽しめる遊具も

鏡町の伝統行事「ふな取り神事」も行われている、趣のある公園。「鏡ヶ池」を中心に日本庭園の趣きを取り入れた開放感あふれる西側と、遊具や芝生広場があり、家族が1日ゆっくり遊び楽しめる東側から成る広々とした公園です。



掛け流しが自慢の温泉 泡風呂や打たせ湯も

パトリア千丁2階にある「千丁健康温泉センター」が人気。掛け流しが自慢で、大浴場を中心に泡風呂、打たせ湯、電気風呂などの浴槽とサウナを備え、ゆったり体を癒せます。

パトリア千丁(八代市公民館)

📍 八代市千丁町新牟田1433

☎ 0965-46-2611 🕒 10:00~21:00(最終受付は20:30)

📅 月曜(祝日などの場合は翌日)、12月30日~1月2日

👤 大人(中学生以上)420円、4歳~小学生320円、65歳以上および障がい者320円、3歳以下無料

Legacy

21 い草及びい草製品

干拓による平野はミネラル分などを多く含有。い草栽培に向いていたことから500年以上前から栽培され、現在も国産い草の約9割が八代産です。また、い草を使用した日用品やインテリア、食品なども盛んに生産されています。

📍 熊本県八代市 **指定** 未指定(ふるさと文化財の森設定地)



● STORY 03

石工の活躍がもたらした豊かさ

石工たちが貢献した干拓事業は広大で実り豊かな平野だけではなく、「大鞘節」や「女相撲」といった工事の苦労を偲ばせる民謡や伝統芸能を生み、今もまちに賑わいをもたらしています。また、彼らの拠点であった山間部にはめがね橋だけではなく、高度な技量と遊び心を見せる「ひねり灯籠」や美しい石積みみの棚田が残されており、日本の近代化を支えた活躍ぶりを伝え、人々をこの地に誘う「懸け橋」になっています。

Legacy

22 大鞘節／大鞘名所

江戸時代、干拓工事の過酷さや苦労を唄った労働唄です。後年、太鼓や三味線の囃子に合わせ、鍬やブリと呼ばれる土を運ぶ道具を持ちながら踊るスタイルになりました。

📍 熊本県八代市鏡町・千丁町 **指定** 市指定(無形民俗)



Legacy

10 文政神社

干拓事業を称えようと明治43年(1910)、地域住民が建立。祭神は熊本藩より惣庄屋に任命され、事業推進に尽力した「干拓の父」鹿子木量平(かなこぎりようへい)で、事業に従事した人々もまつられています。

📍 熊本県八代市鏡町両出 **指定** 未指定(建造物)



Legacy

24 芝口棒踊り

干拓でもたらされた新地には各地から入植者が移り住みました。それら地域の風俗や文化も流入し、収穫のよろこびを表す踊りや娯楽のための踊りとして根付き、現在の姿になったといわれています。

📍 熊本県八代市鏡町芝口 **指定** 市指定(無形民俗)

日奈久・二見・坂本 エリア



豪雨にも耐えた
石工の技術が光る
堅牢な眼鏡橋!

Legacy

18 赤松第一号眼鏡橋

あか まつ だい いち こう めかれ はし

架設された年・石工などはわかっていませんが、令和2年(2020)7月の豪雨でも本体に大きな傷みはなく、種山石工の高い技術が証明されました。橋の欄干には扇面やひょうたんなどの彫刻が見られます。

📍 熊本県八代市二見赤松町 指定 市指定(建造物)



大平眼鏡橋(新橋)



小藪眼鏡橋



新免眼鏡橋

Legacy

19 めがね橋群

ばしぐん

八代市には、江戸時代から近代にかけて架けられためがね橋が残存(現存46基)。自然石を用いた質素な橋から切石を用いた大きな橋まで、さまざまなめがね橋を見ることができます。

📍 熊本県八代市 **指定** 市指定ほか(建造物)

日本遺産周辺 おすすめスポット

日奈久温泉センター ばんぺい湯

📍 八代市日奈久中町316

☎ 0965-38-0617

🕒 10:00~22:00

🏠 第3火曜
(祝日などの場合は翌日)、
1月1日

🍷 ・本湯(1階)
大人200円、小人50円
・ばんぺい湯(2階)
大人520円、小人310円、
70歳以上および
障がい者310円



情緒あふれる建物 御前湯だった歴史も

細川藩の藩政時代、御前湯だった歴史を持つ情緒豊かな日帰り温泉施設。1階が本湯、2階がサウナや露天風呂がある「ばんぺい湯」、3階が家族風呂になっています。



夜は星空 昼の観望テラスからの景色は抜群

標高およそ500mに位置しており、八代市街地や天草、宇土半島、空気の透明度が高い日は雲仙まで見渡せます。様々な双眼鏡や望遠鏡で星空も楽しみ、小さいながらプラネタリウムを併設。宿泊可能なロッジもあります。

さかもと八竜天文台

📍 八代市坂本町中谷は335-2 ☎ 0965-45-3453

🕒 13:00~22:00(受付は21:30まで)

🏠 休 火・水曜日、12月30日~1月1日

東陽・泉エリア



Legacy

13 しらが だけ てん ねん いし ばし 白髪岳天然石橋

「白髪山の天神様が大岩を蹴り破ってできた」という伝説がある天然石橋。実際は9万年前の阿蘇山大噴火で堆積した溶結凝灰岩が風雨で侵食されたもので、これをヒントに石工たちはめがね橋の構造を思いついたともいわれています。

📍 熊本県八代市東陽町北 **指定** 市指定(天然記念物)





● STORY 04

石工たちの技の結晶 -めがね橋-

めがね橋の架設技術は中国やオランダから長崎を経て伝わったとも、地域の石工たちが白髪岳天然石橋から着想を得て編み出したともいわれています。八代では江戸時代末期から昭和初期にかけて地域住民が費用を工面しめがね橋を架けていったため、石工たちは予算に応じつつ実用性を重視。その技は明治時代以降、各地で必要とされ、全国で架けられた約2000基以上のうち、その多くに八代の石工が携わったと伝わります。

Legacy

16

かさ まつ ばし
笠松橋

橋本勘五郎が明治時代に架けたと伝わり、現在も地域の暮らしを支える大切な存在。ノミの加工跡なども見られ、石工の技術力を間近で感じ取ることができます。一帯は公園として整備され、観光客にも人気です。

📍 熊本県八代市東陽町河俣 **指定** 市指定(建造物)



上橋

Legacy

14

かじやかみなかしもばし
鍛冶屋上・中・下橋

種山石工の祖ともいわれる林七(りんしち)が文化年間(1804~1818)頃に造ったといわれています。小川に架けられた数歩で渡ることができる小さな橋ですが、自然石を巧みに使い美しいアーチを描いています。

📍 熊本県八代市東陽町北 指定 市指定(建造物)



中橋



下橋



Legacy

15

ろくろばし
鹿路橋

今も地域住民に
大切に守られる
溪谷橋!

橋本勘五郎の父・嘉八が嘉永元年(1848)頃に築造したとも伝わります。溪谷に架かる長さ20mを超える比較的大きな橋です。現在は通行できません。

📍 熊本県八代市東陽町河俣 指定 市指定(建造物)

Legacy

17

たにがわばし
谷川橋

石工・田上甚太郎が昭和4年(1929)に架けた、現存するめがね橋の中でも最も新しい橋。石材には架設地付近で採石された溶結凝灰岩を用いており、建設中の写真や図面も残されています。今も生活道路として使われています。

📍 熊本県八代市東陽町河俣 指定 未指定(建造物)



Legacy

05 びしょうちく しょうが たな だ 美生地区の生姜棚田

山と山の間を流れる美生川に沿った狭い土地に、地域住民と石工たちが協力して棚田を造成したといわれます。その石積みの光景は美しく、「日本の棚田百景」にも選出されました。現在は特産品の生姜が栽培されています。

📍 熊本県八代市東陽町河俣 **指定** 未指定(文化的景観)



菅原神社



若宮神社

Legacy

25

ひねり灯籠

(若宮神社・菅原神社)

胴部が90度ねじれたように彫刻された石灯籠が「石工の郷」東陽町にあります。若宮神社の灯籠は橋本勘五郎の作。菅原神社の灯籠は石工・文八の作で、さらに90度ねじれており、石工の遊び心と技術の高さを伝えています。

📍 熊本県八代市東陽町南・北

指定 未指定(建造物)

日本遺産周辺

おすすめスポット

石工たちの故郷で めがね橋の技を伝える

通潤橋をはじめ、多くのめがね橋を架けた石工たちの故郷、東陽町にある博物館。名匠といわれた岩永三五郎や橋本勘五郎に関する展示や、めがね橋を架ける技術などを伝えます。



石匠館 📍 八代市東陽町北98-2

☎ 0965-65-2700

🕒 9:00~16:30(入館は16:00まで)

📅 月曜(祝日などの場合は翌日)、
12月29日~1月3日

💰 大人310円、高校・大学生200円、
小・中学生100円



山間のお茶の名産地 食事処もある物産館

熊本県有数のお茶どころ、泉町に立地。お茶をはじめ、干し椎茸や竹炭製品など特産品が揃います。大きな囲炉裏があるレストランも併設。心地よい板張りの大広場も魅力です。

道の駅 秘境の郷いずみ

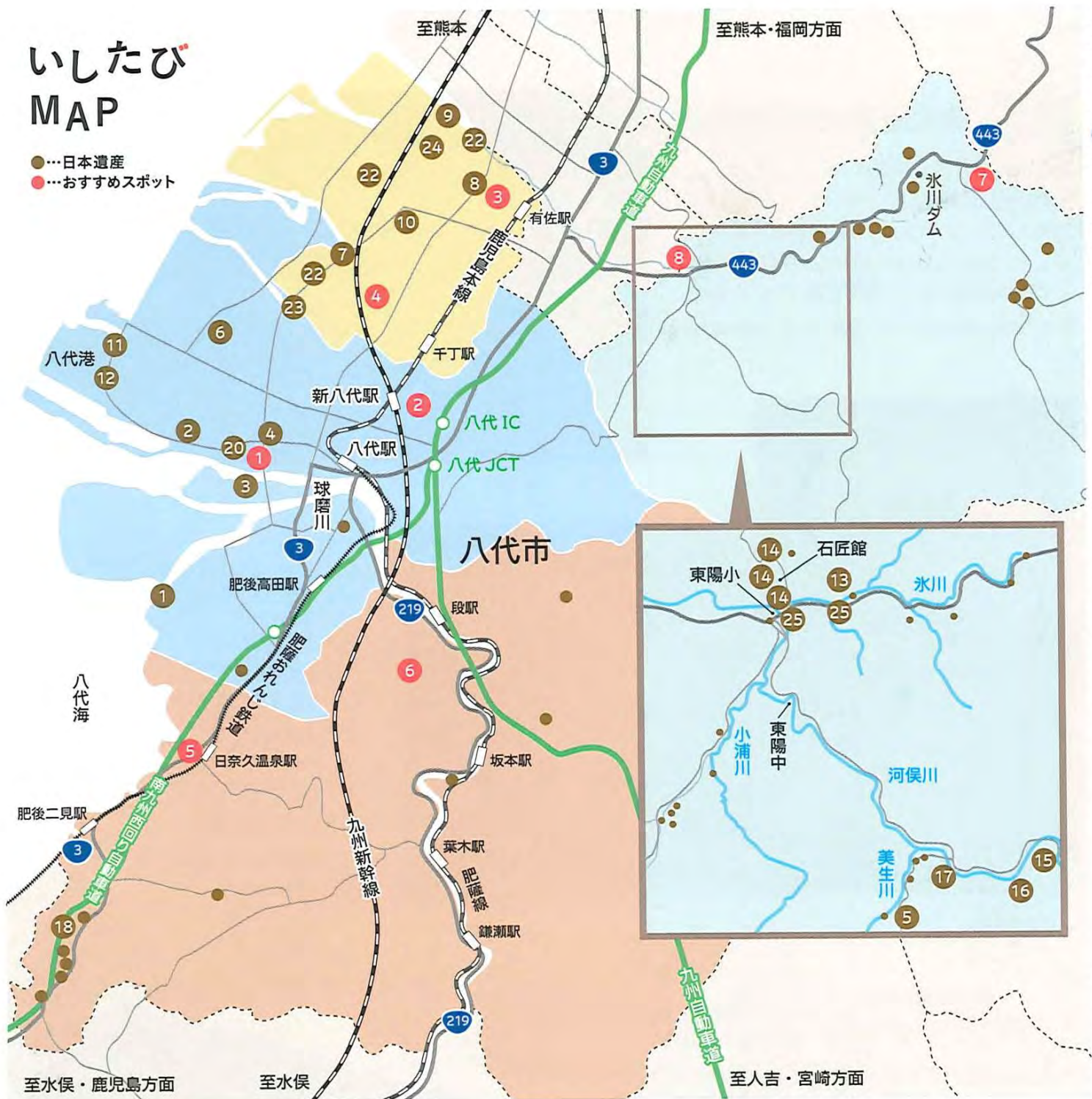
📍 八代市泉町下岳3296-1 ☎ 0965-67-3500

🕒 9:00~17:00 (レストラン11:00~17:00
前日までのご予約で夜間(~20:00)も対応)

📅 水曜(祝日などの場合は営業)、年末年始

いしたび MAP

●...日本遺産
●...おすすめスポット



市中心部エリア P5

- ① 水島
- ② 白島
- ③ 麦島城跡
- ④ 八代城跡
- ⑥ 高島新地旧堤防跡
- ⑪ 旧郡築新地甲号樋門
- ⑫ 郡築二番町樋門
- ⑫ 橋本家文書
- ① お祭りでんでん館
- ② 八代よかとこ物産館

鏡・千丁エリア P9

- ⑦ 大鞘樋門群
- ⑧ 鑑内橋
- ⑨ 岩永三五郎の墓
- ⑩ 文政神社
- ⑪ い草及びい草製品
- ⑫ 大鞘節／大鞘名所
- ⑫ 女相撲
- ⑫ 芝口棒踊り
- ③ 鏡ヶ池公園
- ④ パトリア千丁

日奈久・二見・坂本エリア P13

- ⑬ 赤松第一号眼鏡橋
- ⑤ 日奈久温泉センターばんべい湯
- ⑬ めがね橋群
- ⑥ さかもと八竜天文台

東陽・泉エリア P15

- ⑤ 美生地区の生姜棚田
- ⑮ 鹿路橋
- ⑮ ひねり灯籠(若宮神社・菅原神社)
- ⑬ 白髪岳天然石橋
- ⑮ 笠松橋
- ⑦ 道の駅 秘境の郷いづみ
- ⑬ 鍛冶屋上・中・下橋
- ⑮ 谷川橋
- ⑧ 石匠館

※⑬は●で表記。⑪は八代市一円のため地図に表記していません。

八代市へのアクセス

鉄道

- JR博多駅(九州新幹線)～JR新八代駅 [51分]
- JR熊本駅(九州新幹線)～JR新八代駅 [11分]
- JR鹿児島中央駅(九州新幹線)～JR新八代駅 [46分]

車

- 太宰府IC～八代IC [約120分]
- 熊本IC～八代IC [約40分]
- 鹿児島IC～八代IC [約115分]

飛行機

- 羽田空港～阿蘇くまもと空港[約120分]～新八代駅[高速バス約45分]
- 伊丹空港～阿蘇くまもと空港[約60分]～新八代駅[高速バス約45分]

この事業は、熊本県の「地域づくり夢チャレンジ推進補助金」による助成を受けています。



日本遺産ポータルサイト